

東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年5月 東白杵農林振興局
(東白杵南部農業改良普及センター)



東白杵南部農業改良普及センター
ホームページ

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2、3)
 - 1 【日向市】農業法人の経営改善に向けたヒアリング調査を実施
 - 2 【全域】経営担当者会で農業者研修計画を検討
 - 3 【日向市】日向市認定農業者連絡協議会総会が開催
 - 4 【美郷町】美郷町SAP会議定例総会の開催
 - 5 【日向市】令和7年度日向市果樹園芸振興会総会が開催
 - 6 【日向市・門川町】露地へべすの支部別講習会で病害虫の発生状況に応じた管理技術を指導
 - 7 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部日向夏部会総会が開催
 - 8 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会総会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 4、5)
 - 1 【全域】日向地域の農業振興に向け関係者会議で機運醸成 (施策全体)
 - 2 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマトの苗面談及びほ場巡回 (施策2:園芸産地の確立)
 - 3 【美郷町】令和7年度美郷町野菜部会総会が開催 (施策2:園芸産地の確立)
 - 4 【日向市・美郷町】就農希望者の就農に向けた支援を実施 (施策2:園芸産地の確立)
 - 5 【全域】第1回東白杵農業労働力担当者会議を開催 (施策2:園芸産地の確立)
 - 6 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会の雇用労力課題調査を実施 (施策2:園芸産地の確立)
 - 7 【美郷町・日向市】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施 (施策3:果樹の産地体制づくり)
 - 8 【美郷町】ドローンによるWCS用稲湛水直播による省力化技術への取組を支援 (施策4:肉用牛産地の維持)
 - 9 【諸塚村】紅茶製造研修を実施 (施策5:地域組織や基盤づくり)

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 6)
 - 1 【日向市・美郷町・諸塚村】JAみやざき日向地区本部ほおずき部会総会が開催
 - 2 【美郷町】令和7年度美郷町シキミ部会総会が開催
 - 3 【諸塚村】令和7年度諸塚村園芸部会総会が開催
 - 4 【椎葉村】ほうれんそうの共同選果日程とコスト上昇対策の協議を実施

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【日向市】農業法人の経営改善に向けたヒアリング調査を実施

8日に、専門家支援を受けている日向市の農業法人について、振興局と普及センター計3名でヒアリング調査を行いました。

経営課題の解決に向けた対策の実施状況、経過状況、今後の対策について確認しました。今後も、経営改善に向けて関係者と連携し、支援を継続します。

2 【全域】経営担当者会で農業者研修計画を検討

11日に、日向地区管内の経営担当者15名で、今年度実施する農業者研修の充実に向けた検討会を開催しました。

6月に開催予定の事業承継に係る税務研修会に向け、農業者への周知を徹底することを確認しました。

質の高い研修が実施できるよう、準備を進めます。



【日向地域営農推進連絡会議
経営担当者会】

3 【日向市】日向市認定農業者連絡協議会総会が開催

15日に、日向市役所で令和8年度日向市認定農業者連絡協議会総会が開催されました。会員62名中24名が出席し、全ての議事について承認されました。

普及センターからは、5年ごとに見直す経営改善計画を、所得向上に向けた目標設定の機会として捉え作成いただくよう伝えました。また、6月に開催予定の事業承継に係る税務研修会の案内や、経営改善に向けた農業経営サポート事業、農業経営に関する相談窓口の対応マニュアルについて周知を行いました。

農業経営が厳しい状況の中、少しでも農業所得が向上するよう、しっかり支援していきます。



【日向市認定農業者
連絡協議会総会】

4 【美郷町】美郷町SAP会議定例総会の開催

8日、美郷町役場で、美郷町SAP会議定例総会が開催され、会員5名と関係者3名が出席しました。

総会では、活動実績や活動計画が審議され、原案どおり承認されました。

今年度は県全体の活動への参加に加え、町内の地域おこし協力隊員や美郷町の若手職員に、積極的に活動への参加を呼びかける方針が示されました。

参加者からは「SAPは若手同士が気兼ねなく意見交換できる場」との前向きな意見が多く聞かれました。



【美郷町SAP会議理事長挨拶】

5 【日向市】令和7年度日向市果樹園芸振興会総会が開催

19日、JA日向地区本部で生産者11名、関係者7名が出席し、日向市果樹園芸振興会総会が開催され、活動実績や活動計画の協議が行われました。

普及センターからは、ミカンのカメムシによる被害への注意喚起や、害虫によるかんきつ果実被害・食害の見分け方について説明しました。

今年は春先からカメムシの発生が見られているため、小まめな園地の見回りと適期防除の徹底を指導しました。



【日向市果樹園芸振興会総会】

6 【日向市・門川町】露地へべすの支部別講習会で病害虫の発生状況に応じた管理技術を指導

14日、日向市富高地区など4か所で、平兵衛酢部会の支部別講習会が開催され、露地へべす生産者延べ49名、関係者2名が参加しました。

講習会では、開花期・生理落果から果実肥大期の病害虫防除等についてJAと指導を行いました。

普及センターからは、前作の病害虫の発生被害状況や出荷物の等級を踏まえ、今作は青果率向上をスローガンに掲げ、適期・予防的防除の徹底の提案を行いました。

部会のアドバイザーからは、篤農家の視点で病害虫防除のタイミング・防除の重要性の助言が行われ、有意義な講習会となりました。



【露地へべす支部別講習会】

7 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部日向夏部会総会が開催

26日、JA日向地区本部で生産者6名、関係者6名が出席し、令和7年度JAみやざき日向地区本部日向夏部会通常総会が開催されました。

総会では、活動実績や活動計画、役員改選案が審議され、全て承認されました。

生産者が減少する中、今後の役員会等で部会を盛り上げる取組について検討していくことになりました。その後、普及センターから、摘果や防除の時期的管理について説明を行いました。



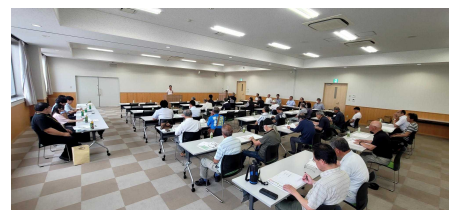
【JAみやざき日向地区本部
日向夏部会総会】

8 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会総会が開催

28日、JA日向地区本部で生産者32名、関係者12名が出席し、令和7年度JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会総会が開催されました。

総会では、活動実績や活動計画、役員改選案、産地ビジョン案が審議され、全て承認されました。

また、JAから中東情勢悪化に伴う生産資材の情勢や今後の対応について共有されました。



【JAみやざき日向地区本部
平兵衛酢部会総会】

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1 【全域】日向地域の農業振興に向け関係者会議で機運醸成

20日に、普及センターで関係者20名が集まり、日向地域営農推進連絡会議、日向地区営農振興協議会委員会、日向地域ブランド推進部会を開催しました。

各会議では、本年度の東臼杵地域プランの説明や今年度の取組の検討を通じて、各市町村の理解と相互連携の意識が深まり、地域農業振興に取り組む機運を高めることができました。



【日向地域営農推進連絡会議】

2 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマトの苗面談及びほ場巡回

冬春ミニトマト部会員の来作に向けた面談を、12日にJA営農センターとJA門川支店でJAと共に行いました。また、15日には美郷町で面談とあわせ、ほ場巡回しました。

来作の穂木と台木及び定植希望日の聞き取りのほか、部会員の目標を確認しました。

生産者からは防除の徹底や初期生育に重点を置いて年内からしっかり収量を確保したい等の声があり、各自の目標が達成できるよう関係者と協力して支援していきます。



【収穫期後半の生育を見ながら面談】

3 【美郷町】令和7年度美郷町野菜部会総会が開催

13日、JA西郷支店で生産者15名と関係者9名が出席し、令和7年度美郷町野菜部会総会が開催されました。

総会では、活動実績や活動計画、役員改選が審議され、原案どおり承認されました。

美郷町野菜部会はミニトマト、きゅうり、スナップえんどう等複数品目の生産者で構成されており、今年度も品目ごとの巡回等を通して、美郷町野菜の振興を支援していきます。



【令和7年度美郷町野菜部会総会】

4 【日向市・美郷町】就農希望者の就農に向けた支援を実施

5月は、日向市で2件の就農計画作成支援、美郷町で1件の就農検討会があり、関係者と連携して対応しました。

就農計画作成支援では、それぞれが希望する品目において、就農後も見据えた具体的な計画となるよう助言し、就農希望者が就農に向け歩みを進められるよう支援しました。

就農検討会では、肉用牛繁殖の承継希望者に対し、活用可能な事業や今後のスケジュールを提案し、6月から本格的に就農計画作成を支援していくことになりました。

今後も関係者と連携し、就農希望者の状況に応じた的確な情報提供と支援に努めます。

5 【全域】第1回東臼杵農業労働力担当者会議を開催

19日、普及センターで、関係者33名が参加し、農業労働力確保担当者会議が開かれました。

会議では、県担い手農地対策課から本県の労働力をめぐる情勢や、雇用人材の活用を後押しする補助事業の説明がありました。また、各市町村やJAの担当者から、雇用確保に関する課題や取組等の情報共有があり、建設的な意見交換が行われました。

普及センターからは、多様な人材の活用に向けた「ワンストップ窓口体制」を提案し、今後は関係者と連携して、新たな人材活用に取り組む農業者を支援していくことになりました。



【農業労働力担当者会議】

6 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会の雇用労力課題調査を実施

多様な雇用人材の活用に向け、今年度から重点的に支援する門川町蔬菜（そさい）園芸振興会を対象に、雇用労力の課題について調査を行いました。

12日はJA門川支店でミニトマト生産者8名、25日は門川町のJA選果場で高糖度トマト生産者7名から聞き取りを行った結果、大半の生産者が繁忙期の労力不足に悩み、必要な人材を確保できていない現状が明らかになりました。

また、具体的な課題として「求人に応募がない」「最低賃金の上昇が経営を圧迫している」「雇用人材用のトイレ設置が必要」といった声が寄せられました。

今後は、関係者と連携し、相談窓口のワンストップ化や関連事業の活用を通じて、繁忙期の労力確保に向けた支援を強化していきます。

7 【美郷町・日向市】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施

25日と27日に、関係者3名で、きんかん部会員30戸の全戸巡回を行い、新梢発生状況を調査しました。

今年は前作の収量増加等に伴い、剪定が5月上旬にずれこんだ園地も見られましたが、多くの園地では順調に新梢伸長・生育が見られました。

また、これまでの管理状況の聞き取りと、園地の生育状況等をもとに、出蕾に向けた葉面散布、温度・水管理等を指導しました。



【出蕾に向けた管理指導】

8 【美郷町】ドローンによるWCS用稲湛水直播による省力化技術への取組を支援

19日、美郷町西郷で、生産者7名と関係者10名の立ち会いのもと、ドローンを用いたWCS用稲の湛水直播に取り組む生産者の支援を行いました。

今回は水稲の受託面積が増加傾向にある若手繁殖経営体からの相談を受け、作業の省力化技術の一つとして取り組んだもので、取組農家からは短時間で播種作業が終了したと実感する声がある一方で、鉄コーティング種子の均等散布に課題を残しました。

今後は生育や収量の調査と労働時間の把握を行うとともに、技術定着に向けた課題を整理していきます。



【ドローンへの種籾補給】

9 【諸塚村】紅茶製造研修を実施

20日、諸塚村の茶工場で農家5名、関係者5名が参加し、紅茶製造研修を実施しました。

今回は村内の小売店から地元産紅茶を取扱いたいとの要望を受け、総合農業試験場専門技術センターの特用作物担当専技を講師として、紅茶を試作しました。

参加した農家からは、「自分たちの手でも製造できる手応えを感じた。ぜひ積極的に取り組んでいきたい」と意欲的な感想が聞かれました。

今回の試作を受けた製造工程の見直しを行い、今後二番茶で本格的な紅茶製造を行う予定です。



【製造工程の確認】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【日向市・美郷町・諸塚村】JAみやざき日向地区本部ほおずき部会総会が開催

14日、JA西郷支店で、生産者11名、関係者8名が参加し、ほおずき部会定期総会が開催されました。

総会では、活動実績と活動計画、役員改選等が審議され、原案どおり承認されました。

部会では「生産技術・販売対策・担い手対策・部会活動」という4つの柱からなる産地戦略ビジョンを掲げており、今年度もこの方針に基づいた取り組みを推進することを確認しました。

近年、生産者の減少という課題に直面していますが、部会員と関係者が連携して、地域の産地維持に向けた活動に取り組んでいきます。



【JAみやざき日向地区本部
ほおずき部会総会】

2 【美郷町】令和7年度美郷町シキミ部会総会が開催

22日、JA西郷支店で生産者23名と関係者11名が出席し、令和7年度美郷町シキミ部会総会が開催されました。

総会では、活動実績と活動計画の審議が行われ、原案どおり承認されました。

普及センターから、これまでの立枯症対策に対する取組について説明を行い、チェックシートを活用した意識付けや対策強化の啓発を行いました。引き続き、部会の振興対策班での園地台帳の整備等支援していきます。



【令和7年度美郷町シキミ部会総会】

3 【諸塚村】令和7年度諸塚村園芸部会総会が開催

25日、JA諸塚支店で生産者11名と関係者8名が出席し、令和7年度諸塚村園芸部会総会が開催されました。

諸塚村園芸部会は、夏秋ミニトマトやほおずき等の生産者で構成されています。総会では、活動実績と活動計画について審議が行われ、原案どおり承認されました。

普及センターからは、農薬の適正使用の啓発や承継にかかる研修会の周知を行いました。



【令和7年度諸塚村園芸部会総会】

4 【椎葉村】ほうれんそうの共同選果日程とコスト上昇対策の協議を実施

25日、椎葉村園芸部会ほうれんそう専門部の共同選果を希望する専門部員9名と関係者4名が矢立団地ハウスを巡回し、各部会員のほうれんそう生育状況の確認と6月の選果日程を協議しました。検討の結果、6月2日から選果開始予定となりました。

また、雇用賃金上昇と中東情勢による資材費高騰を反映し、今年度の選果料が3割上がる見込みであり、専門部員からは「資材の工夫でコストカットできるところはないか」「主要市場訪問時に適正価格取引をしっかりと訴えるべき」との意見が寄せられました。



【ほうれんそうの生育状況を
相互確認】